

Rikubetsu Town

2016



りくべつ



Public Information No.661

平成28年



～今月の表紙～

陸別保育所卒園式

陸別保育所の卒園式が行われ13人が卒園。園児や先生、保護者らが紙吹雪で卒園を祝った。
(3月25日)

- ◆平成28年度 町政執行方針
- ◆平成28年度 教育行政執行方針
- ◆平成27年度 陸別町教育振興賞

平成28年度 町政執行方針

「地方創生元年」 陸別を活力ある町に

陸別町議会3月定例会において示された「平成28年度町政執行方針」をお知らせします。
(内容は一部省略)

平成28年度 基本方針

平成26年11月、国において、人口減少・少子高齢社会の課題に対し、「まち・

ひと・しごと創生法」が制定されました。

当町においても、これまでにない危機感をもって、人口減少の克服と陸別町の



執行方針を述べる野尻町長

創生に取り組むべく、町民をはじめ、産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、報道関係などから広くご意見をいただきました。昨年10月「陸別町人口ビジョン・総合戦略」を策定致しました。

一部事業を先行して実施しておりますが、今年度を「地方創生元年」と位置付け、ふるさと陸別町の活力ある地域の創生に向け取り組んで参ります。

今一度町議会議員の皆さん並びに町民の皆さん、職員共々知恵と工夫を出し合っ

て大胆な発想で転換を図って参ります。また、雇用問題・高齢化を見据えた安全で安心な町づくりや、酪農業や林業などを基幹産業とする当町の存亡に関わるT P P (環太平洋経済連携協定)問題、安全で安心な地域交通の維持と確保など、取り組むべき課題が多くあります。

今後予想される地方交付税の削減など、厳しい財政運営を余儀なくされていく中、町民の皆さんが安心して安全に暮らせる町づくりを進めて参りますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年度 予算編成

平成28年度の陸別町予算の総額につきましては、58億7915万円で、前年度当初予算が改選期による骨格予算のため、政策予算を盛り込んだ6月補正後の予算と比較しますと、マイナス0.67%、3958万円の減額、一般会計では42億6400万円で0.4%、1770万円の増額となる予算を計上致しました。

予算編成にあたりましては、国の地方財政計画等の動向を見極めながら、前年度の6月補正後の予算と比較して、地方交付税を約0.

11%増額した21億6298万円の計上と致しました。臨時財政対策債につきましては、平成27年度当初予算額と比較し、約4.9%減額した1億1600万円を計上致しました。

また、いきいき産業支援基金や公共施設等維持管理基金など3億4147万円を取り崩し、地方債も5億5880万円を借り入れて収支のバランスを図ったところであります。

平成28年度予算の総額		前年度6月補正後予算比較
一般会計	42億6,400万円	1,770万円 (0.4%)
特別会計	16億1,515万円	△ 5,728万円 (△3.4%)
計	58億7,915万円	△ 3,958万円 (△0.7%)

平成28年度 主要事業

防災行政無線

(愛の鐘) 整備事業

平成4年に設置した現行の設備の老朽化に伴い、平成28年度から5年計画により順次設備の更新を行うおとするものであります。

平成28年度はデジタル・アナログ共用の役場親局の操作卓と消防署遠隔制御卓の更新及びデジタル化に伴う電波伝搬調査を実施するための必要な経費を計上致しました。

移住・定住対策

移住体験者の受入体制につきましては、長期滞在型移住体験住宅を含む3棟を完備しており、より多くの移住体験者が来町し、当町への移住につながるよう期待するところです。

また、移住者の受け入れのため、昨年より北海道森林管理局十勝東部森林管理署が町内旭町に所有する署員用住宅2棟8戸のうち6戸について賃貸契約を締結しております。また、3月

からは移住産業研修センター8戸の入居も開始しており、新たに移住される方のための住宅を確保したところであります。



地域活性化推進事業

地域経済の活性化と雇用の創出を図るために引き続き専門員を配置し、新事業の研究や地域ブランドの開発を進めて参ります。

りくべつチャレンジ・プロジェクトでは、ミネラルウォーター開発事業として平成28年度は500mlの「陸別百恋水」を3万本委託製造し、引き続き陸別町のPRと町内外での販売強化を図って参ります。薬用植物研究事業では、

事業化に向けた調査研究と地元有志による組織化の検討など、引き続き取り組みで参ります。

地域おこし協力隊員につきましては、新事業支援推進員、酪農支援推進員、商工支援推進員、産業振興推進員を雇用し、当町の産業振興の活性化を図って参ります。

保健福祉関係

当町の高齢化が進む中、高齢者が健康で明るく地域における生活を続けるために、外出機会を増やしていただくための高齢者等交通費助成事業などを継続するとともに、介護保険の制度改正に伴い、介護予防給付のうち訪問介護と通所介護については、地域支援事業の「介護予防・日常生活支援総合事業」へ移行し、総合事業に着手して参ります。

平成27年度から開始された社会福祉協議会による透析患者の通院に係る移送サービス実施への支援や、将来的に独居の高齢者や障がい者の支えとなる成年後見支援事業については引き続き

推進して参ります。

消費税率引き上げによる影響を緩和するための簡素な給付措置である臨時福祉給付金や低所得の高齢者を対象とした年金生活者等支援臨時給付金の支給につきましては、対象者が漏れなく受給できるよう取り組みで参ります。

防犯灯の改修事業によるLED化につきましては、今年度は栄町の37灯について引き続き設置して参ります。

子育て支援

少子化・核家族化により、子どもを産み育てる環境が大きく変化しています。このような社会状況の中、陸別の次代を担う子ども一人

ひとりの成長を地域社会全体で応援するとともに、子育て世帯の負担軽減のため、支援していくことが必要となつていきます。

昨年度から始めました乳幼児紙おむつ用ゴミ袋支給事業を継続して参ります。平成28年度の新たな支援としまして、陸別町の未来を担う子どもの出産を祝福し、子どもの健やかな成長を願い、新たに出産子育て支援祝金制度を創設するため、必要な経費を計上致しました。

また、陸別保育所につきましては、新年度より保育料の改正と多子入所に係る保育料の軽減を図る条例改正を行っております。なお、一層の保育所の充実に努め



て参ります。

子ども医療費助成事業につきましても、昨年8月より、満18歳までの入院・外来の自己負担分を無料化したところでありますが、安心して子育てができる環境を築いていくために継続して参ります。

重度心身障害者医療費助成事業・ひとり親家庭等医療費助成事業につきましても、これまで同様に継続して参ります。

陸別保育所・子育て支援センターの運営、保育ママ利用助成、給食費の負担などの各種事業についても従来どおり進め、保育サービスの充実を図って参ります。

障がい者福祉

障がいのある人たちが総合的かつ計画的に必要なサービスを利用しながら地域生活が続けられるよう、社会参加の機会を確保し、共生社会を実現するために当町が実施する地域支援事業の充実を図って参ります。

保健事業

町民の皆さんに明るく健

康な生活を送って頂くため、引き続き各種健診の機会を確保し受診率の向上を図り、疾病の早期発見・早期治療につながるよう努め、あらゆる機会を利用して健康についての相談や指導の実施について継続して参ります。

また、特定不妊治療助成事業につきましても、男性も対象とする制度の見直しを行い、経済的負担の軽減を図るとともに、当町に産婦人科の医療機関がないため、妊婦の定期健診は町外の医療機関を受診せざるを得ない状況にありますので定期健診の受診を促すとともに、受診にかかる交通費の一部について助成するために必要な経費を計上致しました。

予防接種では、日本脳炎のワクチン接種が平成28年4月より定期予防接種として行われることとなりました。対象となる町民への周知と接種について取り組んで参ります。

雇用対策

町単独の緊急雇用対策事業として、町内季節労働者、

短期労働者の雇用の安定化を図るための経費について計上致しました。

また、町単独の雇用促進事業についても、町内の事業所等における雇用を促進させるために、必要な経費を計上致しました。

農業関係

酪農畜産業は、地域産業の核として重点的に取り組む必要がありますが、昨今の配合飼料価格が高止まりする中、高齢化や離農が進み、生産基盤の脆弱化が懸念されております。そのため生産基盤の維持拡大及び収益性の向上を図る必要があることから、家畜糞尿等のバイオマス利活用推進事業、牛ウイルス性下痢・粘膜病の検査などを実施する陸別町酪農畜産クラスター協議会への支援を図るために必要な経費を計上致しました。

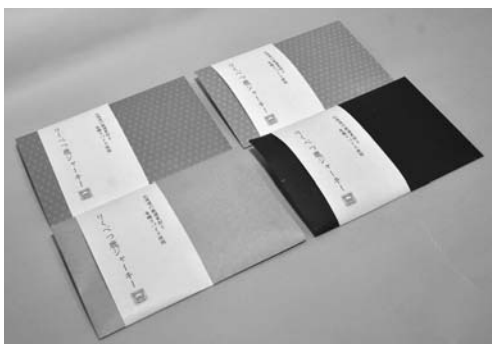
また、経営安定のための各種資金利子補給事業、新農業人育成事業などの農業施策について継続して実施して参ります。

なお、優良家畜導入支援

事業につきましては、個体価格の高騰を踏まえ貸付額について必要な経費を計上致しました。

道営事業としまして、平成27年度から陸別地区草地畜産基盤整備事業、今年度からトマム地区農地整備事業が開始されることから、応分の負担金について計上致しました。

次に、農畜産物加工研修センター関係であります。現在、ブランド開発により「りくべつ鹿ジャーキー」を始めとする鹿肉を使用した製品や「りくべつ低温殺菌牛乳」を誕生させ、試験販売を開始しているところですが、引き続き地場産品の開発を進めて参ります。



林業関係

町有林野事業につきましては、国有林分収林、町有林を森林環境保全整備事業の補助事業として整備を進めて参ります。さらに森林整備は地域雇用に大きく寄与しており、町の単独施策であります民有林造林促進事業については補助単価の改正を行うこととし、林業長期就労促進担い手対策事業については加入年齢の拡充と単価の見直し及び、退職金共済制度加入促進事業については単価の見直しを行い、林業従事者の所得増を図り、雇用促進対策として町が負担する事業を継続して参ります。

商工業の活性化

また、森林整備に必要な林業専用道敷別線と上敷別線本苦務線の開設工事のほか、経営林道陸別薫別支線の改良事業について測量設計を行い、着工致します。

町内商工業者の健全な経営及び設備投資のため、中小企業融資制度預託金要綱に係る預託金を増額致しま

した。また、融資制度、保証料補給及び利子補給事業につきましては、経営の安定、商工業の振興を図るために継続して参ります。

商工会が今年度も実施するプレミアム商品券発行事業につきましては、消費喚起と地域経済の活性化のため、額面に20%のプレミアムを付与することとして、必要な経費を計上致しました。

平成21年度から日産自動車(株)への支援策として実施しています日産自動車購入助成事業につきましては継続して参ります。

観光関係

全国規模で知られるようになった本町の資源である「しばれ」を活かした観光イベント「しばれフェスティバル」は、今回が36回目となります。今後とも町民の皆さんのご理解とご協力をいただき、更なる発展を促すものと確信しております。

また、観光協会が独自事業として取り組んでいる「ふるさと銀河線りくべつ鉄道まつり」につきまして

も昨年度に引続き2日間の日程でのイベント開催が予定されており、商工会が積極的に取り組んでいる旧ふるさと銀河線敷地内での列車等を活用した、ふるさと銀河線りくべつ鉄道は、商工会からの要望を踏まえ、今年度は排雪モーターカー(ハイモ)1両の外装塗装に必要な経費を計上致しました。

銀河の森天文台は、名古屋大学をはじめとする各研究機関と町における社会連携に関する情報交換、事業協力及び交流活動を通して、地域振興の推進を図って参ります。



また、スターライトフェスティバルや季節ごとの観望会など館長と協議の上、各種イベントを企画し、より多くの来館者が訪れ親しまれる天文台にして参ります。

消費者対策

消費者対策については、月2回の消費生活相談窓口を開設し相談業務を実施しているところです。今後とも消費生活専門相談員と連携のもと、消費者の問題に対し迅速な対応が取れるよう、相談窓口の充実を図って参ります。

道路網の整備

高速道路がいち早く緊急交通路として指定され、避難、救助、物資輸送などで果たしている高速道路の役割は大きく、「命をつなぐ道」として高規格幹線道路網の整備が必要不可欠であります。

平成28年度中に供用開始が予定されておりました十勝才ホーツク自動車道の小利別―訓子府間につきましては、工事の遅れが伝えら

れておりますが、一方で長年の懸案事項でありました陸別―小利別間の凍結解除が決定されました。小利別―訓子府間と陸別―小利別間、両区間の早期完成と、陸別―足寄間の凍結解除に向け、引き続き強く要望して参ります。



道々津別陸別線の下陸別・中陸別・止若地区の危険箇所線の線形改良等につきましては、工事など進められていますが、平成28年度においては上陸別地区営農用水水道管支障移転工事を実施致します。なお、引き続き早期完成に向けての要請活動を行って参ります。

町道の維持・整備

町道新町7号通りの詳細設計、町道殖産4号線道路改良工事、町道川向伏古丹連絡線道路改良工事、町道通学路歩道改良工事などに係る経費を計上致しました。町道に架かる橋りょうにつきましては、上陸別橋の調査設計及び、新恩根内橋、弥生橋などの補修事業に着工致します。

町道の除排雪につきましては、現在町内業者への委託業務により、多くの区間の除排雪を行うとともに、きめ細かな除排雪を実施しており、継続して参ります。

なお、現在使用している雪寒機械の老朽化に伴い、除雪グレーダー1台を更新するための経費を計上致しました。

街路灯の改修事業によるLED化につきましては、今年度は駅南通りほか2路線の街路灯26基について引き続き設置して参ります。

なお、省エネルギー化のため、公共施設のLED照明への改修・導入も併せて進めて参ります。

河川の改修

北海道が管理する一級河川利別川の河川改修工事につきましては、町道大誉地薫別線に架かる千歳橋は、左岸側橋台と橋脚の下部工と上部工の製作を北海道が実施し、平成28年度の完成を目指しております。

また、市街地につきましては、新町1区の改修工事を昨年度に引き続き北海道が実施致します。

なお、当町が管理する普通河川鹿山川の護床補修工事などに必要な経費を計上致しました。

住宅整備関係

町営住宅整備事業につきましては、新町団地に4棟12戸の実施設計及び、1棟2戸の住宅建設を実施致します。また、緑町団地の住宅3棟6戸について外壁塗装と屋根防水工事を実施致します。

消防関係

いよいよ今年度から「とかち広域消防事務組合」による十勝圏域での広域消防

が始まり、消防団事務も町に継承されますが、これまで同様の活動ができるよう取り組んで参ります。

平成2年に購入した消防指令車の老朽化に伴う車両の更新に係る必要な経費を計上致しました。

教育関係

教育委員会の意向に基づき、昭和48年に建設された教員住宅の老朽化に伴う1棟2戸の建て替えと、同じく平成12年購入のスクールバスの老朽化に伴う更新に係る必要な経費を計上致しました。

また、国際交流事業の充実に資する観点から、外国人の「英語指導助手招へい事業」について引き続き、所要の経費を計上致しました。

診療所関係

国民健康保険関寛斎診療所の運営につきましては、町内唯一の医療機関として、町民の皆さんが安心して住み続けるための施設であり、また、今後とも関係職員と一層の努力を重ね、收支改善とともに医療体制の

確立維持に努めて参ります。

今年度につきましては、病室ベッド4台の更新やマルチスライスコット・内視鏡システムなどの検査機器の購入、所内の照明のLED化など、必要な経費を計上致しました。

簡易水道

公共下水道事業

簡易水道事業につきましては、新町2区配水管新設工事に係る実施設計、町道本通り伸通りほか配水管布設替工事、トマム2-1号配水管路布設替工事、町道通学道路配水管新設工事などに必要な経費を計上致しました。

下水道事業につきましては、平成9年度から供用開始しており、水洗化率は、89・2パーセントとなっております。

今年度につきましては、浄化センター長寿命化のための機器更新工事などに必要な経費を計上致しました。

介護保険事業関係

介護保険の制度改正に伴い、介護予防給付のうち訪

問介護と通所介護については、地域支援事業の「介護予防・日常生活支援総合事業」へ移行し、総合事業に着手するための必要な経費を計上致しました。

経済の好循環については地方にまでは十分波及しているとは言いがたく、先行きについては依然として楽観できる状態にはありません。今こそが陸別町にとって人口減少の克服と陸別町の創生に取り組む大変重要な時期にあると考えております。

課題も多く、今後難しい局面を迎えることも予想されますが、町民の皆さんと一緒に頑張って「小さくても清らかで輝きのある町」を目指して努力していく所存であります。

議会並びに町民の皆さんの一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。平成28年度の町政執行方針と致します。



平成28年度 教育行政執行方針

「陸別町の未来を切り開く力を育む」

陸別町議会3月定例会において示された「平成28年度教育行政執行方針」をお知らせします。
(内容は一部省略)

基本的な考え方

昨年は、TPP（環太平洋経済連携協定）の大筋合意、また気候変動対策の新

しい枠組みに関する歴史的な「パリ協定」の採択など経済や環境面において大きな動きがありました。
今、教育は、企業や社会



執行方針を述べる石橋教育委員長

から求められた教育ではなく、新しい「社会経済システム」を、教育がリードする時代になってきているとも言われております。

次の社会をつくりだす子どもたちに、ふるさとの産業・文化を理解してもらい陸別町の未来を切り開く力を育むことが大切であります。また、豊かな心が、人と人の交流を促進し、産業を起こし、豊かな未来を築く基礎となることから、町ぐるみで学びあう生涯学習の充実に努めてまいります。

生涯学習の推進

生涯学習の推進につきましては、新年度から始まる「第8期陸別町社会教育計画」の方針に沿って進めて

まいります。本計画におきましては、「地域全体で学び合い、地域全体で支え合うこと」で、地域の未来を切り拓く」を基本理念とし、「学びあい・支えあい・郷土あい」をスローガンに掲げております。

生涯学習の目的は、自らが学ぶとともに、その習得した知識や技能を子どもたちに還元していくことにあります。地域の人材や資源を活かす機会をつくり、「陸別の子どもは陸別で育てる」活動を実践してまいります。

こうした取組を具体化させるために、「ふるさと教育」を地域連携教育として位置付けし、学校教育と社会教育の連携を進めてまいります。

知識は、言葉を伴った体験を通じ、身につくものであり、活動の場を学校空間だけではなく裾野を広げていくことが重要であります。

この「ふるさと教育」は、地域で活躍する団体・サークル、企業・職場の方々と学校が連携し、子どもたちの体験活動を充実させるこ

とにより、社会性や規範意識を身につけ、地域への愛着を高めるものであります。

学校教育の推進

義務教育においては、児童生徒の能力を伸ばしつつ社会的自立の基礎を培い、社会の形成者としての基本的な資質を養うことを目的としております。

今年度も「確かな学力の向上」「豊かな心と健やかな体の育成」「信頼される学校づくり」を柱とし、陸別町の特性を生かした「強い学校づくり」を重点目標として取り組んでまいります。

強い学校づくり

「強い学校づくり」とは、教職員一人一人が地域とともに歩み、新しい社会をつくっていく子どもたち一人一人の資質や能力を捉え直し、教科横断の視点に立った工夫と改善に心がけ、子どもたちと心が通い合う学校のことであります。

昨年、土曜日における教育活動の充実を図るため、

陸別中学校が「土曜授業推進事業」の実践校の指定を受け、体験活動・キャリア教育を取り入れた土曜授業の試行を行っております。今年度も引き続き、陸別中学校において、実践校として、年10回土曜授業を行います。また、陸別小学校においても協力校として、年数回の土曜授業を行う予定であります。



さらに、小・中一貫校やIT教育など先進的な取組を引き続き研究課題として調査を進めてまいります。特に、小・中一貫校の先進視察について所要の予算を計上いたしました。また、特別支援教育及び

発達支援について、保護者及び関係機関との連携を図り、専門員の派遣とあわせ、学習支援員等の見直しを行い、支援の充実に努めてまいります。

確かな学力の向上

学校教育においては、言語活動を軸にしながら、考える力を育む取り組みが行われております。

陸別小学校では「朝学習」と「朝読書」の実施のほか、複数による指導を一部取り入れ、家庭における学習の時間の設定など、学習の習慣化を重点に取り組みます。

陸別中学校では「数学科の習熟度別学習や複数教員による指導」の取り組みを継続し、基礎学力の定着を図っております。

平成28年度全国学力・学習状況調査は、4月19日に予定されております。子ども一人一人の学習の状況や課題について小・中学校の連続性や小学校6年間の積み上げを把握し、学校全体で授業及び学校改善に取り組みよう努めてまいります。保護者に対しては、調査

の結果を踏まえた課題と改善方策を配布し、現状の理解と改善方策が反映されるよう努めてまいります。家庭学習の定着を図るために、学校と家庭との学びの連続性の確保を図り、「早寝、早起き、朝ごはん」の基本的な生活習慣の形成に努めてまいります。

豊かな心と

健やかな体の育成

豊かな心とは、自他の敬愛と協力を重んずる心であります。豊かな心を育てるために、道徳の時間を要として道徳教育を学校全体で取り組むとともに、各教科における道徳的価値に意識的に結びつけていくことがこれからの課題となります。

道徳教育のさらなる充実を図るため、道徳の授業公開を実践してまいります。

陸別の子どもたちは、児童生徒数が少ない中、みんなで協力して成し遂げる大切さを日常的に体験しており、学校にとどまらず地域の行事に積極的に参加し、そのふれあいの過程でコミュニケーション能力が養われ、

達成感と自己肯定感が育っております。

この陸別町の風土・伝統を大切にし、陸別ならではの「ふるさと教育」を通じて子どもたちの心の成長を家庭・学校・地域で育むよう努めてまいります。

いじめの問題については、日常から「いじめは人間として絶対ゆるされない」という学校の方針を明確に伝えるとともに、教師一人

一人が、「いじめはこの学校でも起こりうる」という認識のもと、「起こさない」という意識を持ち、学校が児童生徒を守るという信頼関係を築き、「アンケート調査」のみに頼ることなく、日頃の教育相談などを通じ、早期発見、早期対応を学校全体で取り組み、子どもたちが発するサインを見逃さないきめ細やかな対応に努めてまいります。あわせてPTA活動を通して保護者同士の交流を深め、いじめが起らない環境を周囲から築いていくことが重要であり、引き続きこれまでの取り組みを支援してまいります。

「健やかな体」を育成するため、スポーツの楽しさを味わうことができる体育学習の充実に努め、体力・運動能力の向上と全国体力・運動能力等調査の取組を継続してまいります。また、徒歩による登下校の推進など陸別の暮らしの中で培われる体力・運動能力が伝承されるよう努めてまいります。



中学校の柔道の授業については、技術及び精神面の達成度などを見極め、今年度も安全に十分注意を払いながら進めてまいります。今年度も町が実施するインフルエンザ予防接種補助制度を児童生徒の保護者や

教職員に周知徹底を図り、予防接種の受診により、集団感染の予防に努めてまいります。

また、薬物乱用防止教室を開催し、健康面に対する正しい知識の普及に努めてまいります。

フツ化物洗口については、陸別小学校において希望者に対し実施しており、今後も歯の健康に努めてまいります。

信頼される学校づくり

一昨年、陸別小学校において発生した事故の反省から、安全管理及び危機管理に対する点検を常に怠らず、危機意識の構築が重要であります。事故は気の緩みなど隙を狙って起きてきます。些細な事故も大事故の前触れと捉え、再発防止のための安全点検を強化してまいります。

学校は、校長の経営方針に基づき、教師個々の授業力の向上を図るとともに、教員となった原点に立ち、校内研修を深め、尊敬される教師を目指し、日々努力を積み重ねていくことが大

切であります。

学校、だよりの地域回覧や地域参観日など情報公開に努め、各種行事や公開教育研究大会などに、地域の方々が参加しやすいよう取り組んでまいります。

また、学校評価の結果の分析及び公表を通して、保護者の思いや願いに応える授業づくり、学校づくりを進めるとともに、保護者や地域住民の方々に、学校運営の状況を周知し、地域に開かれた学校づくりを進めてまいります。

なお、文部科学省は、学校運営協議会を設け、学校と保護者と地域の皆さんが知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させる「コミュニティ・スクール」と呼ばれる制度の普及定着を進めておりますが、今後、慎重に検討してまいります。

教員の研修については、校内における組織的な研修・研究活動を充実するほか、十勝教育研修センター研修講座等への参加、教育局指導主事の指導を受けながら資質向上に向けて取り組んでまいります。

教職員の服務規律の保持

につきまして、機会あるごとに注意を喚起しながら交通違反や飲酒運転の根絶など不祥事の未然防止について、指導の徹底に努めてまいります。

また、体罰については、根絶に向け教職員に対して指導を徹底してまいります。児童生徒の安全確保についてであります。登下校時における児童生徒の安全確保につきましては、日頃の児童生徒に対する指導を始めたとして、「通学路の再確認」や「交通安全教室」を開催して指導の徹底を図っております。

また、小学校においては、校区支援ネットワークの取組に対し、市街地の全自治会からご理解をいただき、引き続き登下校時の街頭指導にご協力をいたしております。

子どもたちを地域の大人の目で見守り、各関係機関と情報の共有化を図りながら、安全確保



に努めてまいります。

特色ある教育活動といったしまして、「小・中学校連携教育推進事業」による義務教育9年間を通じた教育の連続性を保つため、中学校の教科担任による小学校への乗り入れ授業や小学6年生の中1ギャップ解消を目的とした事前授業など研究と実践の積み重ねが続けられております。

さらに、保育所や高校以後の連続性について検討してまいります。

英語指導助手の招へいであります。グローバル社会に適応できる教育が必要なことから、平成27年度英語指導助手を招へいしております。言語と体験が同時に経験できる授業は、知識を伴いながら効果的に身につけております。また、保育

所園児や小学生の時期から直接英語圏の文化や価値観に触れることにより、自然に異文化を理解し、親しみを感じる事ができ、国際友好及びラコーム市との交流の絆を繋いでいく基盤が築かれております。引き続き英語指導助手の招へいについて所要の予算を計上いたしました。

社会教育の推進

「社会教育の推進」につきましては、第8期陸別町社会教育計画に基づき実施してまいります。社会教育の分野として、子ども事業、家庭教育、公民館、読書推進、学童保育所に分けております。子ども事業を主体といたしますが、保育所児童や高校生にも拡げる取り組みを行います。

体験講座として、土曜日を実施してまいりました「わくわく体験」や「水中生物講座」「ラフティング」などの講座は「りくべつ学」として統合し、「ふるさと教育」との連携を進めてまいります。

社会教育講座「ヒップホップダンス教室」は、陸別町文化祭での発表を伴う成果発表型の体験講座であり、継続拡大に取り組みます。生活体験講座につきましても、料理体験を中心に継続してまいります。「地域の子どもは地域で育てる」縮図でもある本事業は、将来的な通学合宿事業の実施に向けて、社会教育サポートの人材確保を進めてまいります。



25回目となる「中学生等海外派遣事業」は、中学校2年生を対象として9月に16回目となる「冒険・体感inとうきょう派遣事業」は、

小学校6年生を対象として1月に実施する計画であります。この2つの事業は、陸別町ならではの研修事業であることから、今後も継続してまいります。

十勝全体で取り組んでいる「とかち家族たんらんノーテレビデー」につきましても、家族団らんの良い機会となったという意見が増えてきております。今後も内容を充実させながら継続してまいります。

公民館につきましては、「子どもの体験活動」「大人の学び」の拠点施設としての機能を充実させていくことを目標とし、社会教育活動の展示など可視化を目指してまいります。

また、図書室の充実と関連して、子どもたちを中心とする読書推進事業に取り組みます。

学童保育所につきましても、子育て支援の視点から、新年度より保育料の軽減を図る条例改正を行っております。平成27年度から対象児童を小学校6年生まで拡大しており、保育内容も工夫して実施しております。

今後も小学校や保育所と連携しながら内容の充実に向けてまいります。

高齢者教育につきましても、「ことぶき学級」が中心的な事業でしたが、近年参加者数が減少しており、事業内容を見直し、新年度からは新たに「りくべつことぶき大学」を創設します。町外視察研修を主体に、家から出る機会や「みんなで学ぶ」場を増やしていく予定です。参加者の意向を踏まえながら内容の充実を図ってまいります。

文化の振興

文化芸術分野につきましては陸別町文化協会の活動を中心に「陸別町文化祭」や町民文芸誌「あかえぞ」の発刊、「ふるさと劇場」の活動が継続して取り組まれております。しかし、一方では次世代への継承が引き続きの課題となっております。これら社会教育団体の活動は、生涯学習の中心を担う分野であり、各団体への活動支援を継続するとともに、学習成果の発表や

それを活かす場の提供に努めてまいります。

毎年開催されている「ふれあいカラオケチャリティーショー」が、25周年を迎え記念事業として実施されることから、所要の予算を計上いたしました。



文化財の保護と活用

陸別町の文化財につきましては、関寛齋をはじめ、国史跡ユクエピラチャシ跡や町指定文化財、郷土資料など、地域資源の一翼を担っております。

関寛齋資料館の整備、史跡ユクエピラチャシ跡の整備事業に続き、郷土資料の展示収蔵化を受けて、今後はそれぞれの文化財を積極的に活用していくことが求められます。ふるさと教育の一環としてこれらの地域資源を利用した企画を進め

てまいります。

関寛齋翁の顕彰活動につきましては、平成27年度に札幌市で寛齋セミナーが行われるなど、その活動範囲は広がっており、関寛齋資料館に対する町外の関心も高まってきております。顕彰活動を引き続き支援するとともに、関寛齋資料館により多くの人々が入館されるよう入館料につきましても、町内在住者および中学生以下を無料とし、関寛齋の功績をさらに広められるように所要の改正を提案しております。

また、草地整備事業や高速道路建設に伴う埋蔵文化財の調査につきましては、文化財保護法に従って適切に調査を進めて参ります。

スポーツの振興

スポーツは、心身ともに健康な生活を営み、人々との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成する上で、不可欠なものになっております。

そのために、あらゆる機会や場所において、自主的

かつ健康状態に応じて、スポーツを行うことができるように推進しなければなりません。当町では、体育団体、各種サークル、自治会など地域の連携と交流を促進する施策を実施するとともに、スポーツ施設の適切な維持管理やスポーツを楽しむ機会の提供に努めてまいります。



「町民スポーツレク大会」は、町民が一堂に会し、スポーツレクリエーションを通じて、健康と体力の保持親睦を図ることを目的として、毎年8月に開催しております。今年度も市街地、

農村部をはじめ町民皆様の参加をお願いし、第79回となる大会を開催してまいります。

スポーツを楽しむ機会の提供であります。教育委員会主催の「スポーツの集い」や各体育団体主催のソフトラール、パークゴルフ、ミニバレーなどの各種大会にも幅広く町民が参加して楽しめるよう、各協会と連携、協力を努めながら実施してまいります。

新たな取組として冬の運動不足解消のため、スノーシューを備え、雪原の中の散策や遺跡巡りなどの体験講習を実施してまいります。

今年度もスポーツ推進委員や体育連盟・スポーツ少年団、さらには保健福祉センターとの連携を図りながら、町民全員が生涯を通じてスポーツや健康づくりに親しめるよう、その環境を構築してまいります。

また、スポーツ振興基金の運用を図りながら、スポーツ活動における全国、全道大会出場者及び各種指導者講習会、審判員資格などの助成を継続してまいります。

給食・食育

給食事業は、地域の産業振興に寄与し、家庭愛をつなぎ、そして、食の大切さを学ぶ食育を推進するものであります。

子どもたちが郷土の恵みに対して、感謝の気持ちが育つよう万全を期してまいります。

給食については、徹底した衛生管理を基盤とし、食物アレルギーへの対応や食中毒、異物混入等の危機管理を町作成のマニュアルの下、安全で安心できる給食の提供を行ってまいります。

また、給食の内容としては成長に必要な栄養バランスがとれる多種多様な献立を作成し、地域の食材等も活用しながらおいしく楽しい給食を提供してまいります。

食育については、「子どもに対する食育」と「保護者、地域に対する食育」を行ってまいります。

「子どもたちに対する食育」では、給食時間や授業の中で食育指導を行ってまいります。

「保護者、地域に対する食育」では、主に給食、だよりを通じて給食及び食に関する情報の発信を行ってまいります。また、地域の方に対して給食の試食会等を実施してまいります。

教育施設環境整備

スポーツ施設の維持管理につきましては、全ての施設において、町民皆様に無料でご利用をいただいております。今年度も適切な維持管理と施設運営に努めてまいります。

平成28年度における主な環境整備は次のとおりであります。

- ・教員住宅 新築1棟2戸
(解体1棟2戸)
- ・スクールバス関係
- ・車両購入 コミューター (14人乗り)
- ・児童保育所関係
- ・児童保育所前外構工事
- ・駐車場の舗装整備
- ・公民館関係
- ・誘導灯省エネ LED化
- ・体育施設管理関係
- ・芝刈り車両の購入 1台

- ・緑町スポーツ広場関係
- ・照明塔増設 1基
- ・プール関係
- ・備品整備 プールクリナー、AEDの設置
- ・給食センター関係
- ・設備整備 受水槽滅菌装置、エアーカーテン増設等

協働と未来について

「ふるさと教育」「キャリア教育」「生活体験講座」を通して、陸別町の豊かな自然環境・歴史と文化・産業基盤を生かした「地域教育力」育み、新しい社会をつくりだす子どもたちの生きる力を町ぐるみで育てる陸別型の体験教育の醸成に努めてまいります。

これからも、家庭、学校、地域や各関係機関と連携を深め、教育行政を推進し、町民の付託に応えるよう努めてまいります。町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。執行方針といたします。

平成27年度 陸別町教育振興賞

文化奨励賞（児童部門）

- ◇川 初 琉 生（陸別小3年）
第58回十勝子ども大会 絵画の部 特選
- ◇野 原 凜 人（陸別小1年）
第46回全国書道コンクール毛筆部 特別賞四席



- ◇陸別リコーダーアンサンブルクラブ
佐藤雨音、角熊寛子、畠野美優、坂東莉衣、
石橋朱莉、児玉果南、瀧口八芽美、竹内琴美
第30回全道リコーダーコンテスト 金賞



文化努力賞（児童部門）

- ◇畠 野 美 優（陸別小4年）
第58回十勝子ども大会 書写・書道の部 秀作
- ◇請 川 久 登（陸別小1年）
第58回十勝子ども大会
デザイン・版画・工作・工芸の部 入選
- ◇島 田 蒼 志（陸別小1年）
第58回十勝子ども大会 理科作品の部 銀賞
- ◇川 初 虹 恋（陸別小1年）
第34回毎日こどもピアノコンクール 奨励賞
- ◇金 子 柚 里 乃（陸別小1年）
第46回全国書道コンクール
毛筆部 特選
- ◇畠 野 蓮 綺（陸別小1年）
第46回全国書道コンクール
毛筆部 特別賞



平成27年度陸別町教育振興賞の表彰式が、3月20日にタウンホールで行われました。

今年度は、3団体を含む44人が受賞し、表彰式では、石橋教育委員長が式辞を述べ、野下教育長から表彰状が手渡されました。式の最後には、前田暖斗さん（陸別中3年）が受賞者を代表して謝辞を述べました。受賞者は、次のとおりです。（敬称略）

文化奨励賞（生徒部門）

- ◇清 水 琉 衣（陸別中2年）
第58回十勝子ども大会 書道の部 特選
- ◇前 田 暖 斗（陸別中3年）
第49回中学生の税についての作文
十勝池田税務署長賞



文化努力賞（生徒部門）

- ◇大 島 陸 翔（陸別中1年）
第46回全国書道コンクール中学ペン字部 優秀作
- ◇松 村 祐 菜（陸別中1年）
第46回全国書道コンクール中学ペン字部 優秀作
- ◇土 井 美 咲（陸別中1年）
第46回全国書道コンクール中学ペン字部 優秀作
- ◇坂 井 未 空（陸別中1年）
第46回全国書道コンクール毛筆部 特選
- ◇大 井 基 靖（陸別中1年）
第46回全国書道コンクール毛筆部 特別賞
- ◇佐 藤 昭 英（陸別中1年）
第46回全国書道コンクール中学ペン字部 秀作
- ◇東 雲 大 夢（陸別中1年）
第46回全国書道コンクール中学ペン字部 優秀作



◇陸別サッカー少年団

金子笙之介、東雲夢輝、佐藤響貴、坂井有宇、
多胡乃姫、波多野稜久、佐藤絆菜
第12回全道少年U-10サッカー
北北海道大会十勝地区予選 Cブロック 第3位

◇陸別サッカー少年団

清水祐希、中村 龍、東雲叶夢、横山暖人、
中谷藍大、阿部 駿、北川拓真
第14回連盟会長杯ジュニアフットサル大会
第3位



スポーツ奨励賞（一般部門）

- ◇飯尾 ノブエ（陸別町パークゴルフ協会）
- ◇斎藤 芳昭（陸別町パークゴルフ協会）
- ◇小南 光美（陸別町パークゴルフ協会）

当町におけるパークゴルフをはじめとしたスポーツの普及・町民の健康増進に貢献



ジュニアスポーツ努力賞（児童部門）

- ◇佐藤 藍羅（陸別小2年）
第37回十勝地区空手道選手権
大会兼第70回国民体育大会
空手道競技十勝地区予選
小学生1～2年生女子
組手の部 第2位



英語指導助手

クリスマスのコラム

No.6

陸別中学校の卒業式・カナダの卒業式と入学式

先日、初めて日本の卒業式に出席しました。皆さんがこのコラムを読んだときには、私は初めての入学式を経験している頃だと思います。

カナダでも卒業式がありますが、高校や大学で式典が行われるだけです。私の中学校では卒業の行事はありましたが、そんなに複雑な式典ではありませんでした。校長が生徒達をお祝いし、何人かの親がスピーチをして、「生徒の生活」と称したビデオを鑑賞し、一緒に食事をするといった内容です。どちらかというと「卒業式」と言うよりは「宴会」に似ています。小学校に至っては、全く式典はありませんでした。

高校では、式典がありました。クラスメート400人と私は、みんな卒業の帽子とガウンを着て、大きなホールに静かに入場します。生徒、先生そして校長からあいさつがあり、そのあとステージで卒業証書を受け取り、ホールから退場します。

陸別中学校の卒業式は、私が高校で経験した式典と似ていました。卒業式前のリハーサルや練習は、私の高校に比べはるかに立派なものだと思います。私は生徒と先生の努力にとても驚き、感動しました。

日本とカナダとの違いは、入学式があるかないかです。日本での入学式の経験はまだないので詳しいことは分かりませんが、カナダでは、学校がただ始まるだけです。学校初日に生徒たちが学校に来て、前の年とは違う先生に会って、前の年に習ったことを簡単にあさらいするだけです。そこにはあいさつもなければ、式典もありません。私の学校では、全校生徒が体育館に集まるということもありませんでした。

私は、日本で初めて見る入学式が楽しみでなりません。私は、心から日本の卒業式に敬意を表します。そして一生懸命に卒業式に取り組む姿を見て、とても幸せになれたばかりでなく、私自身今まで経験したことのない文化に触れることができたのはとても幸運だったと感じています。

（クリストファー・ブラウンOFF）





陸別パッチクラブによるパッチ指導（写真上）と生徒によるリーグ戦の様子（写真右）、野尻町長による講話（写真下）



地域の人から学ぶ 陸別中学校 土曜授業

2月27日 陸別中学校が平成27年度に取り組んだ土曜授業の最終回が行われました。

1年生と2年生はパッチを体験し、陸別パッチクラブの萩原浩志代表と、同クラブ会員で第20回大会「名人位」の有田勝彦さんが講師を務め、パッチの歴史やルールを説明し、競技の極意を生徒に伝授しました。

また、リーグ戦と昇段試験も行われ、生徒は盤上のパッチに一喜一憂していました。

3年生の授業では、野尻町長が教壇に立ち、子供の頃の思い出や学生時代の経験についての講話を行いました。生徒からは、将来の夢や陸別の良いところなどの発表があり、町長との意見交換も行われました。

この土曜授業は、今年度も実施される予定となっています。



村松リエ子さん
100歳



おめでとうございます

3月29日 町内しらかば苑に入所している村松リエ子さんが、満100歳の誕生日を迎えました。

この日は、同苑で誕生会が開かれ、野尻町長が「これからもお元気で過ごしてください」とお祝いの言葉を述べ、敬老祝い金を贈呈しました。

今年100歳を迎える大正5年生まれの方は、4月1日現在の住民基本台帳で村松さんを含め5人となっています。

中学生「税のポスター」 十勝総合振興局長賞を受賞



3月10日 第30回全道中学生の税をテーマとしたポスター募集で、陸別中2年の棟方里緒さんが、十勝総合振興局長賞（金賞）を受賞しました。

この日は、受賞の伝達が中学校の教室で行われ、棟方さんは、クラスメイトらの祝福の拍手の中、賞状と記念品を受け取りました。

なお、陸別中学校生徒の同賞の受賞は、昨年に続き2回連続の快挙です。



貸与式で記念のキーを手渡す
帯広日産自動車の村松社長と野尻町長



無償貸与された電気自動車『e-NV200』

日産自動車(株) 電気自動車(EV車)を 町へ無償貸与

3月7日 日産自動車(株)から陸別町に電気自動車が3年間無償貸与されることが決定し、その貸与式が役場庁舎で行われました。

この無償貸与は、日産自動車の「電気自動車活用事例創発事業」によるもので、貸与される自動車は、「e-NV200」。7人乗りのワゴンタイプでフル充電により約185キロの走行が可能です。

貸与式では、帯広日産自動車の村松一樹社長が野尻町長へ記念のキーを手渡し、「日産自動車と関係の深い陸別町が、今回の無償貸与を契機に更にステップアップした関係となるよう期待します」とあいさつ。野尻町長からは、「地球環境に優しい電気自動車を活用し、普及のためにも日産自動車に協力したい」と感謝を述べました。

消費生活相談室から

〜かみちゃんです〜

第36回

消費生活
専門相談員

上村正子

☆首・背中・腕に赤いブツブツが…毛染めでアレルギー

隣町の学習会で、参加者の60代女性から、こんな話を聞きました。

「ともかく、かゆくて、かゆくて眠れなかったの。赤いブツブツが体中に広がって、どんどんひどくなってるね。我慢できずに、帯広の皮膚科に駆け込んだら、毛染め剤が原因ではないかと言われたのよ。これまで何度も使ってきたのにこんな症状が出たのは初めて。ビックリだった。毛染めをやめたら白髪が目立って、すっかり老け顔になっちゃった。悲しいわ。」

話の後半は、笑いながらの体験談でしたが、毛染めでアレルギー症状が出た話。気づかず使い続けていたら、もっと深刻な事態になっていたかもしれません。こわいですね。

☆消費者庁が呼びかけ「毛染めでアレルギー」注意を」

参加者8人(50代〜80代)は、全員が毛染め(カラーリング)をしていると言います。ヘアカラー・ヘアダイ・白髪染め・おしゃれ染め…と、いろいろあるんですね。

ヘアカラーリング剤のうち、医薬部外品の酸化染毛剤が皮膚炎をおこしやすいと言われています。

「見守り新鮮情報」では、「目が開かないぐらい顔がはれて仕事も一週間休んだ。」という60代男性の例も紹介されています。

説明書には、事前にセルフテスト(パッチテスト)を行うようにと書かれています。小さな字なので読むのは、ひと苦労です。使用前には注意が必要です。

*「新鮮見守り情報」平成27年11月23日号をご覧ください。

(班回覧に入っています)

消費生活専門相談員による相談窓口は、月2回開設しています。日程は「くらしのカレンダー」に掲載しています。



3/7 歯の健康教室が陸別保育所のきりん組を対象に行われ、園児は正しい歯磨きの方法を学びました。講師の柳原歯科衛生士によると、保護者による仕上げ磨きが良くできている状況であると話していました。



2/25 東大名誉教授の養老孟司さんの講演会がタウンホールで開かれました。講演は、「幸せになるための生き方・暮らし方」と題して行われ、来場者115人は養老さんが指摘する人間社会の問題点に頷いていました。



3/9 今回で最終回となる男の料理教室が、濱田旅館の濱田正志料理長を講師を迎えて行われました。参加者12人は鶏団子鍋など3品に挑戦。タコ酢味噌では、慣れない生だこの扱いに悪戦苦闘していました。



2/29 陸別消防署の新型救急車が、関係者に公開されました。この救急車は日産エルグランドをベースとした高規格救急車で、現有車と比べて乗り心地やストレッチャーの強度、使い勝手が改善されています。



3/12 陸別リコーダーアンサンブルクラブの定期演奏会がタウンホールで開かれました。今回はクラブメンバーにクラブOBや大人のリコーダー教室参加者も加わった全体合奏も行い、澄んだ優しい音色が会場を包みました。



3/1 人権擁護委員の平林委員と向井委員による人権教室が、陸別小3年生を対象に行われました。児童は、委員が読む紙芝居やカルタを通じて、友達を思いやる大切さを改めて感じ、人権の大切さを学びました。

カメラ

3

スケッチ



3/24 陸別小学校の第106回卒業式が小学校体育館で行われました。卒業生13人は保護者らが見守る中、しっかりと卒業証書を受け取り、先生や在校生と別れを惜しみながら慣れ親しんだ校舎を後にしました。



3/15 陸別中学校の第69回卒業式が中学校体育館で行われました。卒業生19人は、先生や在校生、保護者へ感謝の気持ちを伝え、これからの高校生活に胸を膨らませながら思い出の校舎を後にしました。



関係者によるテープカット(写真上)と竣工式であいさつする美濃島社長(写真右)

最新鋭の大型牛舎が完成

年間乳量5,000tを目指す

3/28 農協出資型法人の㈱ユニバース(美濃島弘典社長)の牛舎が町内殖産に完成しました。この日は牛舎で竣工式が行われ、関係者84人が集まり施設の完成を祝いました。

このユニバースは、町内3件の酪農家と陸別町農協の他、全道初となるホクレンの出資により設立され、年間生産乳量5,000tを目標に4月から本格的に稼働します。

同牛舎では搾乳牛500頭の飼養が可能で搾乳ロボット6台を導入。飼料の供給を陸別町TMRセンターから受けるなど作業の省力化を図っています。

29日には見学会も行われ、最新設備が揃った施設を一般公開しました。



陸別の大自然を車動車で走ろう!!

2016 4/23(土) 出発進行

2016 4月23日(土) 運行開始

ふるさと銀河線

りくべつ鉄道

リクベツ鉄道

TEL 0156-27-2344 FAX 0156-27-2798

2016

ふるさと銀河線

りくべつ鉄道

4月23日(土) 運行開始

日産カップ

第28回 オールジャパンパッチ選手権大会 in 陸別

4/17(日) AM10:00

北海道足寄郡陸別町タウンホール

■参加資格/満20歳以上の男女(計96名)

■参加料/1人1,700円

■大会事務局 ☎0156-27-2141 FAX 0156-27-2798

主催/オールジャパンパッチ選手権 in 陸別実行委員会

共催/日産自動車株式会社・北海道日産パッチクラブ

協賛/日産自動車販売部・OJPA・北海道パッチクラブ・陸別町教育委員会

第28回

日産カップオールジャパン

パッチ選手権大会 in 陸別

4月17日(日) 午前10時

ことぶき大学の受講生を募集しています

今年度から「ことぶき学級」が「ことぶき大学」に生まれ変わります

今年度から「ことぶき大学」がスタートします。これまでの「ことぶき学級」の内容を一新し、移動研修を多く設定しています。

大学の講義は全8回で、このうち移動研修が4回含まれます。今年度の研修内容は「十勝を学ぼう」と題して陸別と十勝のことを学ぶ予定です。6月には帯広美術館で「篠山紀信展」の見学、7月には足寄動物化石博物館の見学を予定しています。また、秋には完成したばかりの中斗満の郷土資料の展示見学と、北見市に映画を見に行く企画をしています。

教育委員会では、この新しい「ことぶき大学」の登録の申込みを受け付けています。65歳以上の方でしたら誰でも参加できますので、お誘い合わせのうえ、ぜひ申込みをして下さい（教育委員会 ☎ 277-2123まで）。

また、これまで「ことぶき学級」に参加されていた方々には、個別で登録の案内をいたします。引き続き「ことぶき大学」に参加される方は新たに申込みをして下さい。

回	区分	内容	日程(予定)
1	講話	開校式・講話	5月10日(火)
2	移動研修	帯広美術館『篠山紀信展』見学	6月14日(火)
3	移動研修	足寄動物化石博物館見学	7月12日(火)
4	移動研修	中斗満郷土資料展示見学	9月13日(火)
5	交流	「十勝東北部高齢者学びの集い」(陸別町)	10月
6	移動研修	北見に映画を見に行こう!	11月8日(火)
7	講座	高齢者の栄養と健康について	12月13日(火)
8	実技	押し花講座・閉校式	2月14日(火)

公民館新着情報

◇ 一般図書

- 昭和からの遺言……………倉本 聰
- 112日間のママ……………清水 健
- フランス人は10着しか服を持たない2…ジェラール・L・スコット
- シェア……………加藤秀行
- たそがれどきに見つけたもの……………朝倉かすみ
- フランダーズの帽子……………長野まゆみ
- アシタノユキカタ……………小路幸也
- あきない世傳 金と銀 源流篇……………高田 郁

◇ 児童図書

- おやすみロジャー魔法のぐつすり絵本…カール・ヨハン・エリオン
- もりのやきゅうちーむふあいたーず…北海道日本ハムファイターズ選手会
- テオの「ありがとう」ノート…クロアチア・タルゲイ・クリエト
- アカンやん、ヤカンまん……………村上しいこ・山本 孝
- ぼくらはうまいもんフライヤーズ……………岡田よしとか
- ようこそなぞなぞしょうがっこうへ…北ふうこ・川端理絵
- だれかぼくをぎゅっとして!……………シモーナ・チラオロ
- 大好きな動物たちのハッピーストーリー

◇ C D

- 「シングル」
- 君はメロデー……………AKB 48
- No more……………EXILE ATUSHI+AI
- 明日への手紙……………手寫 葵
- 「アルバム」
- 白金の夜明け……………ももいろクローバーZ
- E.G.S.M.I.L.E.E.girls BEST…E.girls

◇ D V D

- トイストーリー 謎の恐竜ワールド
- バケモノの子
- ジュラシック・ワールド

※本の貸出期間は3冊2週間です。



参加者による記念撮影



最年長参加者の
松下弘嗣さん



歩くスキーを楽しむ参加者



給水ポイントの様子

晩冬の日産試験場で 自然を満喫

第22回 日産カップ 「陸別歩くスキーの集い」

3月13日 第22回日産カップ陸別歩くスキーの集いが日産自動車㈱北海道陸別試験場で開催されました。

この日は天候にも恵まれ、町内外から50人が参加。参加者は、テストコース内8キロのコースを周囲の風景を見ながらそれぞれのペースで楽しみ、中間地点では同試験場スタッフによる給水地点でコーヒーや百恋水で乾いた喉を潤しました。

参加者は、ゴール後に同試験場の事務棟で昼食をとり、同試験場提供の抽選会を楽しみました。

今回、最年長83歳で完走した松下弘嗣さん（幕別町）は、「コースも天気も良くて最高でした」と感想を話していました。



チームりくべつの皆様さん

決勝1位リーグの結果

- 1位 チームりくべつ（陸別町）
- 2位 新町1区（陸別町）
- 3位 イカセルセカイ（陸別町）

スポーツを通して 三町交流

平成27年度 十勝東北部冬季スポーツ交流会

3月6日 陸別・本別・足寄の三町の町民が交流する十勝東北部冬季スポーツ交流会がタウンホールで開催され、「フロアーリング」を行いました。

今回は三町から12チームが参加。4チームによる予選リーグを行い、その勝敗で決勝の順位リーグに進みました。1位リーグは、陸別からの出場した3チームの顔合わせとなり、試合の結果、2勝したチーム陸別が優勝を飾りました。決勝1位リーグの結果は次のとおりです。

< 4 月 >

陸別町の子育て支援情報

【問合せ先】
保健福祉センター ☎27-8001

日	曜日	行 事 等	子 育 て 支 援 関 係	担 当
1	金			
2	土			
3	日			
4	月		自由遊び（保健センター）	保健福祉センター
5	火			
6	水			
7	木	陸別保育所 入所式 9:30～	親子リズムあそび（保健センター・親子ひろば）	らっこクラブ
8	金	ならし保育期間 13日まで		
9	土			
10	日			
11	月		自由遊び（保健センター）	保健福祉センター
12	火			
13	水			
14	木	平常保育～給食・午睡始まり	親子リズムあそび（保健センター・親子ひろば）	保健福祉センター
15	金			
16	土			
17	日			
18	月		自由遊び（保健センター）	らっこクラブ
19	火			
20	水	2計測（保育所）		
21	木		妊婦・乳幼児相談（保健センター・多目的室）	保健福祉センター
22	金			
23	土			
24	日			
25	月		自由遊び（保健センター）	らっこクラブ
26	火			
27	水	おたんじょう会		
28	木		親子リズムあそび（保健センター・親子ひろば）	保健福祉センター
29	金	● 昭和の日 ●		
30	土			

※自由あそび（月曜日）・親子リズムあそび（木曜日）は午前中の開催です。

◇ 子育て支援センターから ◇

- 乳幼児とその保護者が自由に利用することができる「子育て親子ひろば」を開設しています。子どもたちの交流はもちろん、お父さん・お母さんの子育てで情報を得る機会に、是非ご利用ください。
日時：毎週 月～金曜日 午前9時30分から 場所：保健センター内（トレーニング室の隣）
- 4月から妊婦・乳幼児相談は、歯科相談にも対応します。（歯科衛生士常駐）
歯や歯並びのことでご相談がありましたらお気軽に声をかけてください。

ASHORO

足寄から

あなたも足寄町に
足跡を残してみませんか

足型工房では、足寄町の名前にちなみどなたでも、何度でも足型を取ることができます。採取した足型は、国道沿いやあしよる銀河ホール21前などに敷設されます。

旅行の記念や家族との思い出作りに、ぜひご利用ください。

期 間 4月23日(土)～10月31日(月)

時 間 午前10時～午後4時
※定休日・時間外でも1週間前に予約いただければ対応可能です。

料 金 3,000円

詳 細 足型工房 ☎25-7233

HONBETSU

本別から

第58回 本別山溪つつじ祭り

今年もジャンボ義経鍋のほか、ステージショーなど多彩な催しで皆様のご来場をお待ちしています。

と き 5月8日(日) 午前10時から

と ころ 義経の里本別公園

内 容 溪流魚放流・つり、ジャンボ義経鍋、ふわふわランド、モデル撮影会、ステージショー（ゲスト：とにかく明るい安村）ほか

問 合 せ 実行委員会事務局（本別町役場企画振興課商工観光・元気まち担当）

☎22-2141

健康コーナー 213

☆フレイル・サルコペニアの予防のための食事と運動

【担当】
国保診療所
栄養士 瀧口久美子

現在日本人の平均寿命は、男性80・21歳、女性は86・61歳である一方「健康寿命」と「平均寿命」との差は男性9・13年、女性2・68歳といわれ、このギャップを縮めることが超高齢社会日本の課題と言われています。

肉量、筋力、身体機能の低下を指し、原因としては加齢以外にも、エネルギーやたんぱく質などの摂取不足、身体活動量の減少や等があげられます。

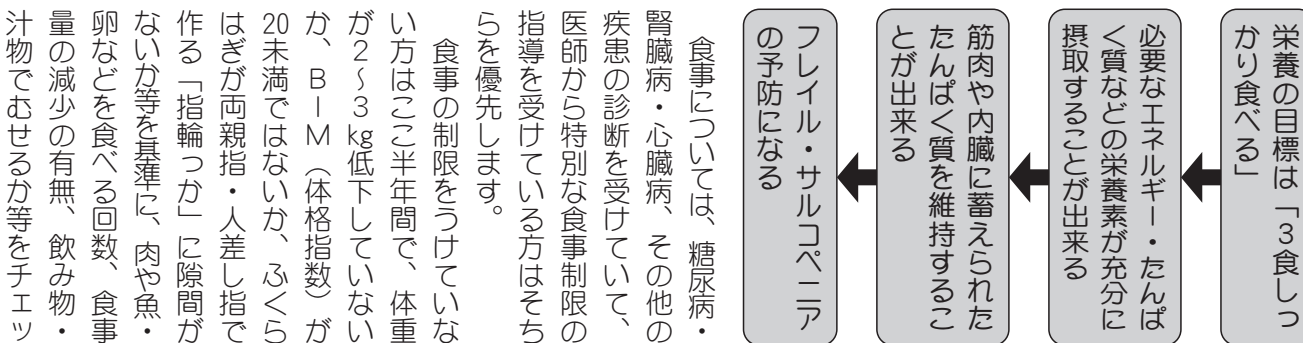
そのような中、生活機能障害を招き、健康長寿の妨げになる危険性が高いものとして「フレイル」や「サルコペニア」が近年注目されています。

フレイルやサルコペニアが進行すると運動機能・身体機能を低下させる場合が多く、要介護状態につながる可能性が高くなるためその対策が必要ですが、一般的な認知度はまだ低く、要介護とならないために必要なスクリーニング及び予防介入が行われていない現状にあります。

老化に伴い筋力や活動量が低下している状態を指し、健康者と要介護の中間的な状態で、要介護に移行するリスクが高い一方、適切なケアによって健康な状態へと戻ることが可能だとも言われています。

こうしたフレイル・サルコペニアの予防において、特に有用とされているのが『栄養』と『運動』です。一つの要となる食事は、不足しがちな栄養素を補うことが大切です。

サルコペニア（筋肉減少症）とは、加齢に伴う筋



食事にについては、糖尿病・腎臓病・心臓病、その他の疾患の診断を受けていて、医師から特別な食事制限の指導を受けている方はそちらを優先します。

食事の制限をうけていない方はここ半年間で、体重が2・3kg低下していないか、BMI（体格指数）が20未満ではないか、ふくらはぎが両親指・人差し指で作る「指輪つか」に隙間がないか等を基準に、肉や魚・卵などを食べる回数、食事量の減少の有無、飲み物・汁物でおせるか等をチェックし、改善目標を立てましょう。

食事の支度が面倒でも、納豆や卵かけ御飯、野菜の具沢山の味噌汁などが体を支えてくれます。また、体調不良や悪天候などで、買い物にいけないうちにレトルトのおかゆや切干し大根やひじき、高野豆腐などの乾物なども常備しておく便利です。また、スーパーやコンビニの総菜もほどよく活用することも良いと思います。

「入れ歯は一度作れば一生もの」ではありません。合わなくなったら感じたら、調整や作り直しをおすすめします。

もう一つの要は運動です。医師から運動制限がない場合は、少しずついいので、体を動かしましょう。昔からある「ラジオ体操」はテレビ放送もしているのであわせて行うと良いでしょう。呼吸をしっかりと行いながら行うことがポイントです。

コラム 「食べたくない…」そう思ったときは

十分に食べられないときには、慣れ親しんだ料理など自分の好物を食べたいときに食べるようにしましょう!

少量ずつ多くの食材を

主食+主菜が一緒にとれる・丼もの
※具たくさんで栄養補給が期待できる!
※例: 丼もの、カレー、うどんなど

香辛料をきかせた料理を

刺激が強すぎない程度、胃に負担がかり過ぎない程度に、味にアクセントをもたせて食欲を促進!
※例: 山椒、しょうが、こしょう、にんにくなど

酸味を活用

梅肉、かんざつ類、酢の物、レモンジュースなどで食欲を刺激!!
※ただし、むせに注意。

野菜は生よりも火を通してあるものを

炒めたり、茹でたりすることで、カサが減り多く食べることができます

味付けや温度に工夫を

濃い味付けのものや、つるりと喉を渡る冷たいそばなど
※アイスクリームなどもいいですが、喉に負担がかかるので、食べすぎには注意

いろいろよく美味しく味わおう

目で見て楽しめるように彩やかに盛り付けましょう!

情報 INFORMATION

後期高齢者医療の被保険者の皆さまへ 平成28年4月1日から 入院時の食事療養標準 負担額が一部変わります

◎住民税課税世帯の方の食事療養標準負担額（食事代）が次のとおりに変更となります。

平成28年4月1日～

1食につき 260円 → 360円

平成30年4月1日～

1食につき 360円 → 460円

ただし、指定難病の方※は、1食につき260円に据え置かれます。

※都道府県の発行する指定難病の医療受給者証をお持ちの方

【注意事項】

- (1) 指定難病の方は、都道府県の発行する医療受給者証を医療機関へご提示ください。
- (2) 指定難病の医療受給者証については、保健福祉センター福祉担当へお問い合わせください。

問合せ 北海道後期高齢者医療広域連合

☎011-290-5601

陸別町役場 町民課 国保・衛生担当

☎27-2141 内線115

平成28年度 協会けんぽの健診

協会けんぽ北海道支部では年度内に1回、加入者の皆様の検診費用の一部を補助しています。

35歳～74歳の被保険者（ご本人）さまへは、がん検診を含めた充実した健診項目の「生活習慣病予防検診」を、40歳～74歳の被扶養者（ご家族）さまへは、メタボリックシンドロームに着目した「特定健康診査」と2つの検診をご用意しております。

生活習慣病の予防と早期発見・早期治療のためにも年に一度は検診を受けましょう。

問合せ 全国健康保険協会（協会けんぽ）

北海道支部

☎011-726-0352（代表）

国民健康保険からのお知らせ

国民健康保険の資格を取得または喪失したときは「世帯主が14日以内に役場に届出ること」が必要です。

資格取得

- 他の市町村から転入したとき
- 職場の健康保険をやめたとき（退職したとき）
- 職場の健康保険の任意継続をやめたとき
- 世帯員が増えたとき（結婚、出生、同居など）
- 生活保護を受けなくなったとき

資格喪失

- 陸別町から転出するとき
 - 職場の健康保険に加入したとき（被扶養者となったとき）
 - 死亡したとき
 - 生活保護を受けるようになったとき
- （注）75歳到達により、後期高齢者医療制度の対象となったときは届出不要

その他手続き

- 住所、世帯主、氏名等が変わったとき
- 保険証を汚損または紛失したとき

※上記の届出の際には下記の物が必要となりますのでご持参ください。

- ①印鑑（シャチハタは不可）
- ②異動対象者全員の個人番号カード若しくは通知カード

※届出が遅れると……

国民健康保険税を資格が発生した日にさかのぼって納めることとなりますし、条例に基づき過料が発生する場合があります。

また、届出前にかかった医療費は、やむを得ない場合を除き、全額自己負担となります。

※事業主の皆さんへのお願い

貴事業所において雇用している方が、社会保険等に加入または喪失した場合は、国民健康保険等の加入または喪失の届出を行うように指導をお願いします。また、貴事業所において雇用している方の社会保険等の資格異動情報を貴事業所から役場に情報提出していただくことにより、国民健康保険の資格異動届出の漏れを防止することができます。

なお、情報提供は別途定める「年金異動報告書（様式は役場にあります）」を使用していただきます。現在「年金異動報告書」が未提出の事業所につきましては、今後ご協力をお願いいたします。

問合せ 陸別町役場町民課国保衛生担当

☎27-2141 内線115

平成27年度 陸別地区簡易水道水質検査結果について

水道法で定められている検査項目全てにおいて水質基準値に適合していますので、安心してご利用できます。

平成28年度の陸別町水道水質検査計画を策定しました。ご覧になりたい方は役場2階建設課へお越しください。また、陸別町のホームページにも掲載しています。

平成27年8月に行った全項目(51項目)水質検査結果
陸別地区簡易水道 浄水(採水場所:陸別町給食センター)

番号	項目名	基準値	結果値
1	一般細菌	100集落/mL以下	1
2	大腸菌	検出されないこと	不検出
3	カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下	0.0003未満
4	水銀及びその化合物	0.0005mg/L以下	0.00005未満
5	セレン及びその化合物	0.01mg/L以下	0.001未満
6	鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	0.001
7	ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下	0.001未満
8	六価クロム化合物	0.05mg/L以下	0.001未満
9	亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下	0.004未満
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/L以下	0.001未満
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	0.2
12	フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下	0.08未満
13	ホウ素及びその化合物	1mg/L以下	0.1未満
14	四塩化炭素	0.002mg/L以下	0.0002未満
15	1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	0.005未満
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	0.004未満
17	ジクロロメタン	0.02mg/L以下	0.002未満
18	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	0.001未満
19	トリクロロエチレン	0.01mg/L以下	0.001未満
20	ベンゼン	0.01mg/L以下	0.001未満
21	塩素酸	0.6mg/L以下	0.13
22	クロロ酢酸	0.02mg/L以下	0.002未満
23	クロロホルム	0.06mg/L以下	0.002
24	ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	0.003未満
25	ジブロモクロロメタン	0.1mg/L以下	0.001未満
26	臭素酸	0.01mg/L以下	0.001未満
27	総トリハロメタン	0.1mg/L以下	0.002
28	トリクロロ酢酸	0.2mg/L以下	0.003未満
29	ブロモジクロロメタン	0.03mg/L以下	0.001未満
30	ブロモホルム	0.09mg/L以下	0.001未満
31	ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	0.008未満
32	亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下	0.007
33	アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下	0.02未満
34	鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	0.03未満
35	銅及びその化合物	1.0mg/L以下	0.008
36	ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下	3.4
37	マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下	0.005未満
38	塩化物イオン	200mg/L以下	4.9
39	カルシウム、マグネシウム等	300mg/L以下	19.7
40	蒸発残留物	500mg/L以下	55
41	陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下	0.02未満
42	ジェオスミン	0.00001mg/L以下	0.00001未満
43	2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下	0.00001未満
44	非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下	0.005未満
45	フェノール類	0.005mg/L以下	0.0005未満
46	有機物(TOC)	3mg/L以下	0.4
47	PH値	5.8以上 8.6以下	7.1
48	味	異常でないこと	異常なし
49	臭気	異常でないこと	異常なし
50	色度	5度以下	1未満
51	濁度	2度以下	0.1未満

※水質検査機関:帯広市上下水道部水質検査センター

町職員人事異動

4月1日付発令 ※()内は前職名
[町長部局]

杉本 武 勝▷産業振興課参事=陸別町商工会派遣・事務局長(総務課参事)

石川 欣 仁▷陸別町社会福祉協議会派遣・事務局長(保健福祉センター主幹)

宮崎 正 博▷町民課主幹(総務課主幹=池北三町行政事務組合派遣)

西田 直 人▷総務課主任主査(保健福祉センター主任主査)

佐々木美雪▷町民課主任主査(同主査)

首藤貴美子▷総務課主査(出納課主査)

竹島美登里▷保健福祉センター主任主査(同主査)

工藤 康 孝▷総務課主任(産業振興課主任)

三好 隆 佑▷産業振興課主事補(教育委員会主事補)

長谷川 絢 香▷出納課主事補(総務課主事補)

瀧口久美子▷国保診療所主査(保健福祉センター兼務を解く)

前田 智 美▷保健福祉センター主査(地域包括支援センター兼務を解く)

菅原 育 子▷保健福祉センター主任(地域包括支援センター兼務を解く)

工藤このみ▷保健福祉センター保健師(地域包括支援センター兼務を解く)

[教育委員会]

瀧口 和 雄▷教育委員会主幹(町民課主幹)

[議会事務局]

吉田 利 之▷議会事務局主任主査(同主査)

[新規採用]

宮本 朱 美▷保健福祉センター主任

谷本 佑 太▷保健福祉センター技師

辻本 一 貴▷保健福祉センター主事

石井 洋 平▷教育委員会主事

3月31日付発令

[退職]

長谷部勝枝▷診療所主査

平成28年度 調理師試験

日 時 平成28年8月23日(火)
午後1時30分から午後4時

場 所 帯広市(会場は受験票により通知)

願書受付 平成28年5月9日~5月20日

問 合 せ 北海道帯広保健所企画総務課企画係
☎0155-27-8638

女性のための人権なんでも相談所

日 時 平成28年4月20日、7月27日、
9月21日、11月30日

午後1時から午後3時30分

場 所 とかちプラザ 1階大集会室

問 合 せ 帯広人権擁護協議会

釧路地方務局帯広支局

☎0155-24-5853

銀河の森コテージ村^{から}のお知らせ

〈3月24日現在 コテージ予約状況〉

予約は既にうまっている場合があります。最新の予約状況は直接コテージ村管理棟へご確認下さい。

○余裕あります ●満室です △予約が入ってます ※予約はお早めにコテージ村管理棟へ(TEL 27-4040 FAX 27-4041)

4月	コテージ 予約状況	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
	6人用	○	△	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
	10人用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

5月	コテージ 予約状況	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
	6人用	△	△	●	●	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
	10人用	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

町民のうごき

うぶ
ごえ

富田莞爾^{かんじ}くん 2・26 旭 町

おく
やみ

児玉 郁^ささん 95歳 2・29 大 通
棟方雪子^ささん 86歳 3・5 共栄第1

ご厚意

ご寄付ありがとうございます

社会福祉協議会
ボランティアセンター
(愛情銀行)へのご寄付

陸別カラオケクラブか
ら社会福祉協議会に3
万円が寄付されました。



運転免許更新時講習日程

月	会場名	種類	日	曜日	時刻	月	会場名	種類	日	曜日	時刻
4月	本別中央 公民館	一般	6	水	10:00	5月	本別中央 公民館	一般	11	水	10:00
		優良	6	水	11:30			優良	11	水	11:30
		違反	20	水	10:00			初回	11	水	13:00
	違反	20	水	10:00	違反			25	水	10:00	
足寄町民 センター	優良	14	木	14:00	足寄町民 センター	優良	19	木	14:00		
	一般	14	木	15:00		一般	19	木	15:00		

※本別警察署で更新手続きを済ませてから受講して下さい。

町の人口・世帯数 28.2.29

人口 2,536人(-1)
男 1,279人(±0)
女 1,257人(-1)
世帯数 1,345戸(+4)

友好町民の会 283人(前年同月比)

ホームページアドレス <https://www.rikubetsu.jp/>

電気自動車用急速充電器が 設置されました



道の駅の駐車場に電気自動車用の急速充電器が設置されました。利用方法については、日本充電サービスホームページまたは、役場産業振興課(商工業振興担当)にお問い合わせください。

日本充電サービスHP

<http://www.nippon-juden.co.jp/cn/>

4月1日現在
交通事故死ゼロ
560日

春の全国交通安全運動

4月6日(水)～15日(金)